

防空法は本当に悪法だったのか？

国民防空政策における 国民保護

防空から防災へ

大井 昌靖 著

本土空襲に備え、昭和十二（一九三七）年に成立した防空法を中心とする「国民防空政策」。

焼夷弾火災に対する「敢闘精神とバケツリレー」に象徴される防空法は、国民に負担を強いるだけの悪法のように論じられてきた。しかし、防空法は、「監視、通信、警報、燈火管制、分散疎開、転換、偽装、消防、防火、防弾、防毒、避難、救護、防疫、非常用物資の配給、応急復旧」という空襲の流れを網羅し、準備から空襲後の処置・復旧にまで対処するように定められている。消防・防火の失敗だけで評価することが本当に妥当なのか？本書では、防空法を中心とした民防空の国民保護政策としての歴史的意義を検証し、今日の防災へと繋がる「教訓」を明らかにする。



定価：本体4,800円（税別）

平成28年10月発行

A5判・上製・カバー装・344頁

ISBN978-4-7646-0345-5

目次抄

第一部 研究の進め方

第一章 問題の所在

第二章 先行研究

第三章 研究の必要性

第四章 防空法とはどんな法律だったのか

第五章 研究の進め方

第六章 用語の整理など

第二部 空襲への準備

第二章 「組織・訓練」

第三章 「空襲判断」

第三章 事前の防御措置

第三部 空襲時の対処

第一章 「監視」「通信」「警報」

第二章 「燈火管制」

第三章 「偽装」

第四章 「消防・防火」

第四章 「空襲後の処置」

第一章 「応急復旧」

第二章 空襲に際する防疫対策

第三章 防空法の災害対処

第五部 民防空政策と国民保護

参考文献

あとがき

索引（人名・事項）

〔ご注文・お問い合わせ〕

錦正社

〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町544-6 URL <http://kinseisha.jp/>
電話 03(5261)2891 FAX03(5261)2892

書店様番線	注文数	民防空政策における国民保護 定価：本体 4,800 円（税別） ISBN978-4-7646-0345-5
	冊	
	お名前	
	〒 ご住所	
	お電話	